

市民建設常任委員会（30年度議会報告会原稿）

市民建設常任委員会からご報告いたします。市民建設常任委員会は、7名の委員で構成しており、所管する部局は、市民環境部及び建設経済部であります。

お手元の「議会だより」によりまして、所管部局の平成30年度重点施策を中心に、ご説明いたします。

「議会だより」4ページをお開きください。

カーボンマネジメント強化事業につきましては、環境省の補助事業を活用し、市内公共施設のうち、庁舎等8施設の照明・空調機器などを省エネ設備に入れ替え、二酸化炭素の削減と電気料金の抑制を図るものであります。10億772万6千円を予算化しております。

続いて、5ページをご覧ください。

最下段、住宅建設事業につきましては、国庫補助事業を活用し、三豊市市営住宅長寿命化計画に基づきまして、仁尾浜地区の住宅4棟7戸の建て替え工事を行うものであります。3億2,890万5千円を予算化しております。

次に、7ページをご覧ください。

上段は、昨年実施した議会報告会において参加者からいただいた声をもとに、昨年の12月議会において市長へと提出しました、「市政に対する要請書」に対し、本年の1月29日にありました、市長からの回答の内容を掲載しております。本委員会からは、「有害鳥獣対策の拡充」と「荒廃竹林対策」の2点について要請を行ってまいりました。

7 ページの下段は、各常任委員会が1年間、継続的に取り組む予定である、調査・研究テーマの一覧です。

市民建設常任委員会では、早急な見直しが求められている「都市計画について」継続的な課題であります「地域を守る農業について」、現在統一に向けて調査をしている「生活排水処理の料金体系について」、今後の課題であります「市営住宅のあり方について」の4項目の調査・研究を計画しております。

また、別紙で配布しておりますのは、昨年9月の決算特別委員会において試行実施しました、議会事務事業評価の実施結果の一覧であります。

これまで執行部において実施しておりました事務事業評価を、議会として独自に事業を抽出し、実施したものでございます。

平成28年度に実施した事業の中から、市民建設常任委員会所管事業としては、「有害鳥獣対策事業」「住宅リフォーム事業」「竹資源利活用事業化事業」の3事業を抽出して評価を行いました。「有害鳥獣対策事業」「住宅リフォーム事業」については「拡充」、「竹資源利活用事業化事業」については、「改善」という評価をしております。この結果を受け、「有害鳥獣対策事業」については、今年度より狩猟免許取得の補助率を引き上げるなど、評価結果の反映が見られました。「住宅リフォーム事業」「竹資源利活用事業化事業」の2事業については、骨格予算であります当初予算では反映されておりましたが、今後の補正予算、いわゆる肉付け予算において、どのようになるのか、注視していくこととしております。

以上、簡単でございますが、市民建設常任委員会の報告を終わります。